

桃山学院高校で塗装体験

日本建築仕上学会女性ネットワークの会



関西ペイントが塗料提供

日本建築仕上学会女性ネットワークの会は16日、大阪市の桃山学院高校で、塗装教室を開いた。関西ペイントが同社の塗料「アクアマックスEXⅡ」と「エコクリーン5F」を提供し、同高校の2年生約30人が塗装作業に挑戦した一写真。

塗装対象は、来年入学の新生が使う予定の下足用ロッカーで、生徒たちは2日かけて、ケレン作業や塗装作業を行った。

作業の様子を見守っていた女性ネットワークの会代表の熊野康子氏（フジタ）は「みんな熱心で、一生懸命にやってくれている」と話した。

参加した生徒からは「楽しかったし、みんなで協力することができて良かった」との声が聞かれた。



トークイベント

1日目の作業終了後に開かれたトークイベントでは、熊野氏が女性ネットワークの会の活動やDX（デジタルトランスフォーメーション）の意義を説明し、「DXを仕事に取り入れることで、女性の社会進出につながっていく」と述べた。さらに同会の宮原悦子氏（クレアールソシオ）がDXの実例としてスマートフォンを使った「ライダースキャナ」を生徒に実演した。